

# 令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立北山小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

## ■ 調査期日

平成31年4月18日(木)

## ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

## ■ 調査の内容

### (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

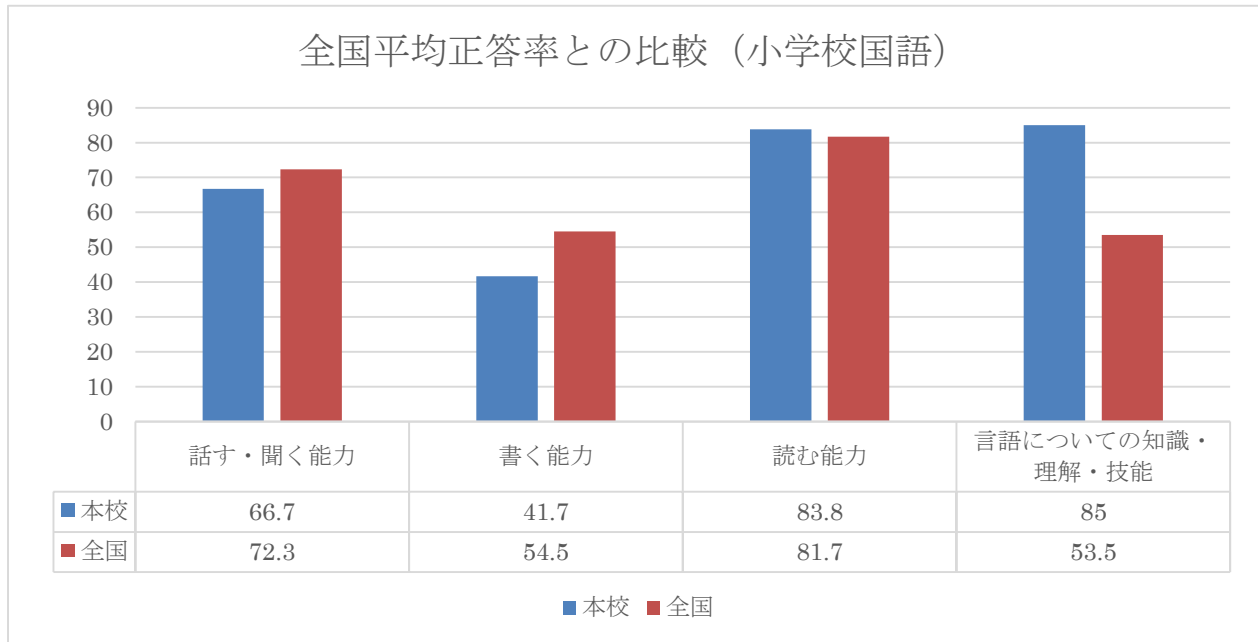
### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## ■ 調査結果及び考察

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

# 1 国語



## (1) 結果

4領域のうち2領域で全国平均正答率を上回った。分布の割合を見ると、上位・中位・下位とそれぞれに分布している。無回答率は全問題で0%だった。全国平均よりも低かった。

## (2) 成果と課題

成果は、「読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の2領域であった。特に「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、全国平均を大きく上回った。学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使ったり、ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いたりすることが身につけていると言える。

課題は、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の2領域だった。「話すこと・聞くこと」では、話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をしたり、目的に応じて、質問を工夫したりする問題が全国平均を下回った。「書くこと」については、情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方への工夫を捉えたり、目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書いたりする問題に課題が見えた。

## (3) 学力向上のための取り組み

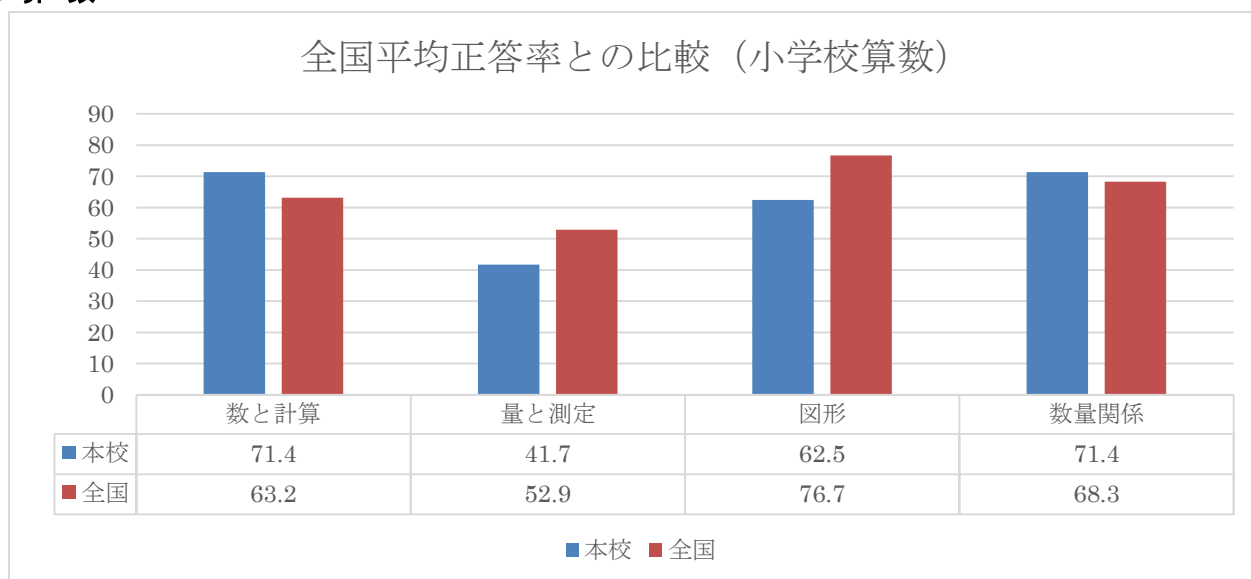
### 【学校では】

- 国語の授業を中心に、「話す」「聞く」「書く」「読む」「言語」の5つの力を身につけます。また、身につけた国語力を他教科にも活かしていく授業を組み立てていきます。
- 相手意識を育み、自分が伝えたいことを正確に伝えるための方法を考えさせ、思考力、表現力、コミュニケーション力の向上を図ります。
- 朝の読書、読み語り等、読書の充実を図り、主体的に読書に取り組ませ、感性を育む子どもを育てます。

### 【ご家庭では】

- 読書で語彙力を養っていく機会を作ってください。
- 家庭で会話をすることが大切です。聞くときは話を最後まで聞き、話すときは語尾まではっきりと話し、共感したり、理由や根拠を尋ねたり、互いの考えを交流してください。
- 音読や漢字の学習では、頑張っているところをご覧になって誉めてください。

## 2 算 数



### (1) 結 果

4領域のうち2領域で全国平均正答率を上回った。分布の割合を見ると、上位・中位・下位とそれぞれに分布している。無回答は全ての問題においてなかった。記述式の問題では、図形の面積の求め方や計算の仕方を説明する問題において全国平均を下回っており、筋道を立てて説明する記述力があまり身につけていないことが分かった。

### (2) 成果と課題

成果は、「数と計算」と「数量関係」の2領域であった。特に「数と計算」では、全国平均を8ポイント上回った。何倍かを読み取ったり、計算の仕方を解釈し、適用したり、複数の数量から必要な数量を選び、立式したりすることが正確に出来ていた。

課題は、「量と測定」と「図形」の2領域だった。「量と測定」では、図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述したり、資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述したりする問題があまりできていなかった。「図形」では、図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成する問題があまりできていなかった。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 授業では全学級で、「つかむ→見通す→考える→深める→まとめる」の北山校授業モデルに取り組み、論理的思考力を高め、自分の考えを筋道立てて説明する力（話す力・書く力）を身につけさせるように努めます。
- 図形の構成（合成や分解）の見方を養い、図形の面積や体積を求める時に用いる数の意味や演算の意味を図形と関連付けて考えるように指導していきます。
- 火曜日・金曜日の放課後に「友愛タイム」（プリントでの補充学習）に取り組み、基礎・基本である四則計算の定着と单元ごとの確実な習熟をめざします。

#### 【ご家庭では】

- テスト結果だけでなく、お子様がどんな問題が得意で、どんな問題が苦手なのか、家庭学習の様子に目を向け、励ましや称賛の声かけをお願いいたします。
- 少しでも算数に興味や関心をもたせるには、「習ったことが生活の中で使えて便利だな。おもしろいな」と思わせることが一番です。学習した算数を使う場面を意図的に作ってください。例えば、「おかし数えでかけ算」、「おかし分けで割り算」、「料理で重さ」、「お風呂で水のかさ」、「買い物で割合」、「折り紙で分数」、「家の中で図形探し」等、身の周りには算数を使う場面が結構あります。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査

#### (1) 結果

《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校%	全国平均%
朝食を毎日食べていますか。	100.0	86.7
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	75.0	38.9
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	25.0	58.7
家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話をしますか	50.0	50.1
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	25.0	30.1
学校のきまりを守っていますか。	50.0	46.7
人が困っているときは、進んで助けていますか。	75.0	40.4
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100.0	85.0

「生活習慣」では、早寝・早起き・朝ごはんの生活のリズムは概ね身につけている。本校6年生は、毎日元気に登校し、日々の学校生活を送っている。「挑戦心」という点では、不安や心配が先にたち、積極的に物事に取り組むことに躊躇したり、一步を踏み出すことにためらったりすることも見受けられる。「規範意識」では、ルールやマナーを守り生活をしていこうとする児童は多い。素直で心の優しい児童が多く、友達が泣いていたたり、困ったりしていると、声をかけて心配する場面も見受けられる。

《家庭学習の様子》

調査項目	本校%	全国平均%
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	25.0	33.1
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。 「3時間以上」	0.0	12.4
「2時間以上、3時間より少ない」	25.0	16.9
「1時間以上、2時間より少ない」	50.0	36.8
「30分以上、1時間より少ない」	0.0	24.1
「30分より少ない」	25.0	7.6
「全くしない」	0.0	2.3

児童は日々の宿題や自学にまじめに取り組んでいる。学校の方では、宿題が提出されているかを確認し、宿題で間違い等があった場合は、書き直しをさせている。児童自身が自分で目標を立てて計画的に学習に取り組む意識は十分育っているとは言えない面がある。自主的に学習に取り組むことをねらいとして、毎学期「家勉強がんばろう週間」を設けている。今年度で3年目になるが、児童自身も自分のために学習を行う習慣が少しずつではあるが、身につけてきた。自学の内容については、安易な自学内容になることがあるので、本人が苦手なことに挑戦したり、教師から指定したりするなど、自学内容を見極めて課題とする必要がある。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

- 家庭学習は毎日、「音読」「漢字の書き取り」「プリントやドリル」を出します。自主学习(自学)についても、自学ノートを掲示したり、工夫を凝らした自学ノートを称賛したりすることで、児童生徒が意欲を持って自主学习に取り組むようにしていきます。
- 「家勉強がんばろう週間カード」や「学校評価アンケート」をもとに、生活習慣や学習習慣についての個別指導を続けていきます。
- 今年度も全学年で「立腰」に取り組み、集中して学習することに取り組んでいきます。

##### 【ご家庭では】

- 「家庭学習の手引き」に書かれてある家庭学習の内容をご確認ください。ご家庭の方では、自学ノートに取り組んでいる児童に声をかけて励まして頂きたいと思っております。その積み重ねが児童の「やる気」につながっていきます。
- 食事中、家庭学習中の姿勢等、家庭でも「立腰」の取り組みへの協力をお願いします。
- テレビや新聞のニュース、クイズ番組や旅番組等でも、社会情勢や国内外の歴史や文化を学べます。ぜひご家族の皆さんで児童の可能性を育んでいきましょう。